

とやま県政をぐっと身近に!

富山県議会議員

井上学県政報告

平成30年 新春号

発行: 自由民主党
富山県議会議員会

平成30年の新春を皆様とともに寿ぎたいと思います。本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、自分にもいつか来るであろうと思っていた「還暦」がついにやってきました。20～30代の頃、還暦を迎えられた皆さんは、えらく年寄りに見えました。全く実感がわきません。しかし、若い人達には自分もすっかり年寄りに映っているのでしょうか。

ある民間の生命保険会社が、還暦を迎える男女を対象にアンケートを実施したら、気が若く情熱を絶やさない生き生きとした姿が浮かび上がったといいます。

男女各千人にアンケート。「自分の精神年齢は何歳と感じているか」と尋ねると、平均は46.4歳(男性45.9歳、女性46.9歳)。肉体年齢は平均53.8歳(男性53.5歳、女性54.1歳)。7割が「還暦を迎える実感がわからない」。8割が「赤いちゃんちゃんこを着ることに抵抗がある」となったそうです。「まだまだやりたいこと(夢や目標)があるか」という質問には、男女ともに4人中3人が「あてはまる」と回答。今後の人生の不安は「身体能力の低下」(62%)がトップ。「年金制度の崩壊」(59%)、「老後貧困・老後破産」(53%)が続き、半数以上が老後資金への不安も抱えていたそうです。

全部当てはまるのであります。同世代の平均的ということか。確かにまだまだやりたいことはいっぱいあるし、赤いちゃんちゃんこを着て、日なたぼっこしてる場合じゃない。

人生100年時代を迎える今、60、70は働き盛り、老人年齢は80歳以上かも。今年1年、地域発展のために頑張っ
てまいります。ご指導よろしくお願いします。



平成30年新春 井上 学

9月定例会 予算特別委員会

問1 県のPR戦略について

(1) これまでの本県のPR戦略の成果及び課題を踏まえ、今後どのような戦略を持ってPRに取り組むのか、問う。

石井知事 答弁

平成28年の観光客入込数は前年比3.4%増、外国人宿泊者数は前年比14.5%増となり、これは過去最高となっている。今後は、個人旅行客の増加によるニーズの多様化ということもあるので、DMOと連携したマーケティングに基づくプロモーションの強化や多彩なツーリズムの展開、世界ブランド化に取り組んでいる「立山黒部」や世界で最も美しい湾クラブに加盟が認められた「富山湾」の魅力の磨き上げによる「滞在型・体験型」観光の推進などに積極的に取り組んでまいりたい。

また、本県へ移住された方々は、3～4年前までは約300人だったが、昨年度は過去最高の565人となっている。今後は、インターネット広告による新規相談者の獲得、県外在住の本県出身の30歳以下の社会人約24,000人を対象とした移住・転職イベント情報などの定期的な送付に取り組むこととしている。

(2) 台湾との更なる交流促進のため、「日台観光サミット」の誘致を検討すべきと考えるが、所見を問う。**石井知事 答弁**

台湾は富山県にとって大変重要な市場であり、例えば、立山黒部アルペンルートでは、台湾からの観光客数が最も多い。また、富山ー台北便はスタートは週2便だったが、就航以来初めて、通年週4便以上の運航が実現することとなった。

「日台観光サミット」は、次の日本での開催時期は、平成31年（2019年）となるが、この年を含め、近い将来、本県で「日台観光サミット」を開催できれば、本県の食の魅力など、多彩な魅力を発信する絶好の機会となり、引いては、台湾から本県への更なる誘客の契機となることが期待される。

平成31年の「日台観光サミット」については、近い将来の本県への誘致の可能性について、関係方面への情報収集等にも努めながら、できるだけ前向きに検討してまいりたい。

**問2 安全・安心の確保について****(1) 県内の交番において、警察官や交番相談員の不在時に来訪者があった場合や、事件・事故の被害者が駆け込んできたなどの緊急時に、どのように対応しているのか、問う。****白井警察本部長 答弁**

警察官等が不在の場合は、来訪者が一目で分かるよう、交番の出入口付近のカウンター上に、「警察官は不在です。ご用件のある方は受話器を上げて下さい。」等と書かれた案内板を置き、来訪者が受話器を上げるだけで警察署へつながり、来訪用件等をその場で把握し対応できるようにしている。

地理案内や落し物等への対応について、対応可能なものは、来訪者の利便性も考慮して、電話対応とする場合もあるが、緊急時を含め、事件・事故の被害者等からの聴取や各種相談等の受理など、面接しての対応が必要となる場合については、直ちにパトカーや隣接交番の勤務員等が交番に赴き対応しているところである。

(2) 交番相談員の配置によって、住民が痴漢やDV、ストーカーなどの犯罪をはじめ、事件・事故の被害から救われた事例がないか、問う。**白井警察本部長 答弁**

警察官がパトロール活動等により交番を不在にしている間、交番相談員の対応によって、来訪者等が事件・事故の被害から救われた事例については、

- 男女間のトラブルで、交番に女性が助けを求めて駆け込んで来た直後に、相手の男性が交番に現れたことから、男性を制止するなどにより、女性の安全確保を図ったもの
- 来所した高齢男性から、「妻あてに内容確認通知書が届いた」との相談を受理し、直ぐに振り込め詐欺と認め、「相手に連絡しない」等の必要な助言を行い、詐欺被害を未然に防止したもの

がある。

(3) 県では、今年度、避難所運営計画を策定する自主防災組織の取組みを、市町村と連携して支援することとしているが、現在の避難所の運営計画の整備状況と、今後の避難所の運営にかかる取組みについて、問う。**山本総合政策局長 答弁**

自主防災組織による避難所運営計画の整備状況について、避難所を指定している市町村に確認したところ、避難所運営計画を策定している自主防災組織は、県全体の2,102組織のうちわずか6組織であり、また、今年度から来年度にかけて策定する予定の組織は8組織と伺っている。

こうしたことから、県では、今年度、新たに「地域の自主的避難所運営計画等作成モデル事業」を創設し、災害図上訓練等を活用して、避難計画や避難所運営計画を策定する自主防災組織の一連の取組みについても市町村と連携して支援している。

県としては、普段から地域ぐるみで考え、取り組む自主防災組織などによる活動が促進されるよう、研修会や実践的な訓練等を通じた支援にしっかりと取り組んでまいりたい。

(4) 断水時のトイレへの備えなど、避難所に指定されている公立学校の機能強化にどのように取り組むのか、問う。

渋谷教育長 答弁

本県においては、市町村の地域防災計画により、小中学校や県立学校など、公立学校の97%が避難所として指定されている。

指定されている学校の防災機能の保有状況については、本年4月の時点で、備蓄倉庫等が43.4%、耐震性貯水槽等が44.9%、自家発電設備等が57.0%、通信設備が55.7%、断水時のトイレ等が23.4%となっており、自家発電設備等については全国平均を上回っているものの、他の防災機能については、いずれも下回っている状況にある。

このため、引き続き、国に対して、学校の防災機能強化に関する十分な予算の確保と補助制度の拡充について強く働きかけるとともに、市町村教育委員会と協議しながら、学校の防災機能の強化に努めてまいりたい。



(5) 県内の中核SS及び住民拠点SSの整備状況と、災害時のガソリン供給体制の確保対策について、問う。

山本総合政策局長 答弁

県内では、全国1600箇所のうち18箇所の給油所が「中核サービスステーション」に指定されている。一方、「住民拠点サービスステーション」の指定については、現在のところ、全国で68箇所、県内ではゼロとなっているものの、資源エネルギー庁では、今後、平成31年度頃までに目標である8,000箇所の整備を目指すとしている。

災害時には、防災拠点等の重要施設や緊急車両などに重油やガソリン等を優先的に供給する必要があることから、県では、平成23年に県石油商業組合と協定を締結し、燃料供給体制を確保するとともに、その実効性を確保するため、「中核サービスステーション」からタンクローリーにより避難所に燃料を輸送し給油する訓練を重ねている。

問3 人材育成について

(1) グローバル人材の育成が重要と考えるが、本県の高校生の海外留学の実績と県立高校における海外との交流事業の実績について、問う。

渋谷教育長 答弁

県では、平成25年度から高校生の留学に支援金を支給し、きっかけ作りに努めている。こうした取組みもあって、支援を受け留学した県立高校の生徒は、平成25年度の1名から、今年度は20名となっている。また、3ヶ月以上の留学については、平成16年度の21名から減少しているものの、近年は増加傾向にあり、5年前の2名から、昨年度は7名となっている。

海外派遣研修については、昨年度、県立高校全体で、23校が学校交流や企業訪問を実施し、900名を超える生徒が研修に参加している。

(2) 高校生の段階から、海外に興味を持たせ、グローバルな感覚を植えつけることは不可欠であり、重要な課題と考えるが、今後、グローバル教育にどのように取り組むのか、問う。

石井知事 答弁

これからの富山県や日本の将来を見据えると、グローバルな舞台で活躍できる学力と行動力のある人づくりが特に重要だと考えており、県教育委員会に対し、グローバル人材の育成に積極的に取り組むよう要請してきた。

さらに、①北日本放送株式会社をはじめ協賛企業からの協力を得て、昭和 58 年度から富山県高等学校生徒海外派遣事業を実施し、これまでに 700 名を超える生徒を海外に派遣しており、また、②平成 26 年度から、県立高岡高校がスーパーグローバルハイスクールの指定を受け、富山大学と連携した授業などに取り組むなど、積極的に進めている。

昨年度から新たに、県立高校の海外有名大学（ハーバード大学やマサチューセッツ工科大学）等での研修を支援する制度を設け、今年度は 8 校を支援している。

今後とも、富山ならではの真の人間力を育む教育の実現に向け、教育委員会と連携して、グローバル人材の育成にしっかり取り組んでまいりたい。



11月定例会 一般質問

問1 活力ある地域づくりについて

(1) 新総合計画において重要政策と位置付けている「人づくり」について、今後どのように取り組んで行くのか。

石井知事 答弁

様々な分野において活躍し、本県の発展を担う有為な人材は、県づくりの根本となる最も貴重な財産であると考えている。

新総合計画においては、今後 10 年を見据え、ふるさとに心の根をおきながらグローバルな舞台でも活躍できる人材を育成するとともに、健康で生きがいを持ち、意欲や能力に応じて活躍できる社会の実現に向けた取組みを進めることとしている。

コミュニティや地域活性化を担う人材が育つ環境づくりや若者のチャレンジ支援や自立促進などの施策に取り組む。

(2) 「エイジレス社会」の実現に向け、今後の高齢者の地域貢献活動をどのように支援していくのか。

前田厚生部長 答弁

本県では、①老人クラブの加入率が全国一位であること、②民生委員の委嘱率が全国で唯一 100%であること、③全国的にも先進的な取組みとしてスタートしたケアネット活動が全県的に広がっていることなど、高齢者の地域貢献活動は、他県に比べて大変活発に行われている。

また、来年 11 月に開催される「ねんりんピック富山 2018」を契機に、高齢者の社会参加活動や活躍の場をさらに広げていきたいと考えている。

(3) 地域おこし協力隊は本県にとっても有効と考えるが、これまでの実績や課題をどのように捉えているか。**蔵堀観光・交通・地域振興局長 答弁**

県内の市町村における受入状況は、11市町で50名が活動中であり、平成22年度の受入開始以来、8年間の累計では12市町73名となっている。また、既に任期を終了された地域おこし協力隊員19名中、12名の方々が、任期終了後も引き続き県内自治体に定住されており、定着率は63%となっている。

県内市町村では、積極的に隊員を募集しているが、応募者が少なく任用人数が募集人員に満たない市町村が見受けられるところである。また、隊員数が増加する中、隊員の任期終了後の定着や地域における受入体制の強化への支援も課題であると考えている。

問2 安全・安心なまちづくりについて**(1) 昨年の新潟県糸魚川市の大火を契機として、県民が安全・安心に生活を送ることができるよう、地域防災力の充実強化や災害に強いまちづくりに積極的に取り組むべきと考えるが所見を問う。****石井知事 答弁**

糸魚川市の大規模火災については、現場が木造住宅の密集地域であったことや、フェーン現象による乾燥した強風、消防水利の不足などにより、大きな被害となったと聞いている。本県においても、ここ数年、住宅密集地域で火災が発生し、死傷者が出た事案もあることや、同じ日本海側で気象条件等が似ていることなど、決して他人ごとではないと考えている。

災害に強いまちづくりを進めるため、密集住宅市街地において、住宅市街地総合整備事業と土地区画整理事業などを組み合わせ、住環境の改善と防災性の向上に総合的に取り組んでいる。

今後とも、県民の皆さんが安全で安心して暮らせるよう、市町村等と十分連携してまいりたい。

(2) 富山高山連絡道路は、本県の発展に極めて重要な道路であるが、現在の進捗状況と今後の整備促進に向けた県の取組方針を問う。**加藤土木部長 答弁**

富山高山連絡道路については、岐阜県境付近の富山市猪谷から楡原間延長約7.4kmが「猪谷楡原道路」として事業化され、このうち、片掛から楡原間5.8kmが平成22年度までに供用しており、残る猪谷から片掛間1.6kmは、現在神通川に架かる橋梁2橋の工事や道路改良工事が進められている。

また、隣接する富山市楡原から栗山間延長約12kmが「大沢野富山南道路」として事業化され、これまで調査・設計を実施し、今年度から用地測量が進められている。

富山高山連絡道路は、岐阜県だけでなく、長野県や首都圏に繋がる非常に重要な道路であることから、県としても、早期整備を国に対して強く働きかけてまいりたい。

(3) 除雪業務に多大な貢献をしている県内建設業者への支援の観点も含め、本年度の除雪体制と将来的なあり方について、問う。**加藤土木部長 答弁**

今冬の県管理道路の除雪体制については、昨年度と同数の県内建設企業等325社と委託契約を締結して、県保有機械444台、民間保有機械271台、あわせて715台を常時配備している。また、今年度から、除雪業者が事前に待機する際に活用する降雪予測情報について山間部の4地点を追加するなど、県下全域にしっかりと除雪体制を構築したところである。



県としては、今後とも、国や他県の動向や、除雪作業に従事されている建設企業等の皆さんのご意見を聞きながら、建設企業等の実情を踏まえた支援策の充実についても検討し、将来にわたり安定的な除雪体制を維持できるよう努めてまいりたい。

(4) 富山市内の警察署の再編に伴い、富山市南部地域の治安対策・初動対応力や夜間警備力の強化、地域の安全・安心の確保に、今後どのように取り組んでいくのか問う

白井警察本部長 答弁

富山市内警察署再編計画に基づき、平成 32 年中の竣工を目指している（仮称）富山南警察署の警察官数は、概ね 150 人規模を想定しており、現富山南警察署の約 2.5 倍となることから、事件事故発生時の初動態勢や事件捜査体制、夜間・休日における当直体制の充実・強化が図られる。

さらに、同警察署整備後、現在の富山南警察署庁舎は、警部を長とする（仮称）大沢野幹部交番として活用することとしており、警部所長の配置により、事件事故処理の的確な判断、各種相談への適切な対応のほか、地域関係団体等との緊密な連携が維持できると考えている。

(5) 防犯カメラの増設に積極的に取り組むべきと考えるがどうか、問う。

白井警察本部長 答弁

防犯カメラの設置は、県民の関心が極めて高いことから、県警察としても、そのニーズに応えていかなければならないと考えているところである。

自治体等では、町内会が防犯カメラを設置するための助成制度の創設を進めていただいているところである。

その一方で、町内会の中には、様々な事情から直ちに設置できないところも見受けられるところである。

県警察では、こうした町内会を後押しすることが課題と考えており、町内会に対して、一定期間、防犯カメラを試行的に設置するなどして、実質的な設置に結びつけていく必要があると考えているところである。

問 3 教育問題について

(1) 平成 30 年度から道徳が教科化されることに対する所見を問うとともに、今後の道徳教育の充実に向けてどのように取り組んでいくのか、併せて問う。

石井知事 答弁

昨年 3 月に策定した富山県教育大綱においても、豊かな心の育成を基本方針のひとつに掲げ、子ども達の道徳教育充実に取り組むこととしている。

こうした中、来年度から小中学校の道徳が順次教科化されることは、子ども達の豊かな心を育む上で、大きな意義があると考えている。

豊かな人間の育成に向けた教員の資質向上にも努めており、教育委員会には、各学校で充実した道徳教育が実施されるよう、引き続き、しっかり取り組んでもらいたい。

さらに、ふるさと教育にも力を入れており、ふるさとへの誇りと愛着を育んでいる。その他、助産師の話などを聞く「いのちの教育」を通じて命の尊さを学ぶなどの取組も行っているところであり、今後とも、富山ならではの真の人間力を育む教育の実現に向け、学校・家庭・地域と連携しながら、道徳教育の充実にしっかりと取り組んでまいりたい。





井上学の主な活動

8月

- 8月2日 経済建設委員会視察（愛知県）～4日
- 8月5日 東海北陸自動車道付加車線設置事業着工式
上二杉、下タ北部地区納涼祭
猿倉ローラースキー30回記念祝賀会
- 8月6日 猿倉ローラースキー大会
東大久保地区納涼祭
第2選挙区支部研修会
- 8月7日 政調会正副部会長会議
県議会政策討論委員会
- 8月8日 犯罪被害者支援PT会議
- 8月10日 議員総会
- 8月11日 大沢野住民パークゴルフ
- 8月13日 福沢地区盆踊り大会
- 8月15日 県戦没者追悼式
- 8月18日 全国県議会議員野球大会（長野県）～20日
- 8月20日 上二杉地区県政報告会
- 8月21日 国からの富山県出向者との意見交換会
- 8月22日 下タ北部地区要望

8月23日 政調会正副部会長会議

- 8月26日 富山県美術館全館開館記念式典
- 8月27日 北方領土返還県大会
- 8月28日 憲法改正公開講義
- 8月29日 県第2支部県議団会議
- 8月30日 議員総会
- 8月31日 上婦負地域自治振興会連絡会議

9月

- 9月1日 都市農業勉強会
県総合計画に対する県当局との意見交換会
- 9月2日 国道8号線豊田新屋立体起工式
大沢野中体育大会
- 9月4日 MOAふれあい健康祭り
MOA議連県外視察（静岡県）～5日
- 9月6日 党政調会福祉環境部会
- 9月7日 経済建設常任委員会
- 9月8日 議員総会、提案理由説明
- 9月9日 大沢野中、高等支援学校体育大会
- 9月12日 9月定例会代表質問

第2選挙区支部県議団会議

- 9月15日 一般質問1日目
- 9月16日 大沢野小運動会
県芸術文化フェスティバル
- 9月17日 新美地区運動会
猪谷関所飛越ふれあい祭り
- 9月19日 一般質問2日目
- 9月20日 政調会正副部会長会議
友好団体懇談会
- 9月21日 予算特別委員会1日目
- 9月22日 オイスカ議連説明会
- 9月23日 第2選挙区支部役員会
- 9月24日 下タ北部地区運動会
高内3世代ふれあい会
- 9月25日 予算特別委員会2日目
関電ルート勉強会
富山県医師会との懇談会
- 9月26日 経済建設常任委員会
- 9月27日 議員総会、第2選挙区支部会議、採決

井上学の主な活動

9月29日 政調会朝勉強会
 中山間地域振興条例PT会議
 決算委員会総括説明
 9月30日 大沢野幼稚園運動会
10月
 10月1日 大沢野武道大会
 八木山3世代交流会
 10月2日 宮後援会事務所開き
 10月3日 国道359、471号要望
 10月4日 舟倉土地改良区、大庄自治振興会要望
 10月5日 決算委員会書面審査
 10月6日 大庄自治振興会要望（南署）
 10月7日 八尾消防署竣工式
 10月8日 セーナー苑祭
 10月9日 支部総務分会長会議
 10月10日 衆議院選挙公示
 10月11日 大沢野政経研究会
 10月12日 富山湾未来創造調査会勉強会
 10月14日 しらとり支援学校学習発表会
 10月18日 政調会経済建設部会
 10月19日 第4区小学校連合音楽会
 10月21日 オイスカ園海外視察（バプアニューギニア）～25日
 10月27日 商店街連合会意見交換会
 10月28日 富山県耕地課90周年祝賀会
 10月29日 大久保小学習発表会
 市場地区県政報告会
 10月30日 議会基本条例公開討論会
 10月31日 学友グリーン会コンペ

11月
 11月2日 大沢野駅伝大会開会式
 11月3日 大沢野駅伝大会
 富山高等支援学校文化祭
 日本北陸書道院展
 11月6日 議員総会
 11月7日 中山間PT意見交換会（南砺市、朝日町）
 11月8日 砂防促進協議現地視察（岐阜県）～9日
 11月10日 中山間PT意見交換会（氷見市）
 11月12日 JAあおば感謝祭、大久保ふれあい祭り
 11月13日 都道府県議会議員研究交流大会
 11月14日 防災体験セミナー
 11月16日 県建設業協会要望
 福沢地区自治振興会要望
 11月17日 決算委員会、議員総会
 中山間PT意見交換会（大山小見地区）
 党大沢野支部役員会
 11月18日 大沢野幼稚園発表会
 11月20日 富山市政懇談会
 11月21日 中川忠昭県議と語る会
 11月22日 宅建50周年記念式典
 北アルプス横断道路総会
 11月23日 中山間PT意見交換会（細入地区）
 11月24日 経済建設常任委員会
 11月25日 党県連支部長幹事事務局長会議
 11月26日 原子力防災訓練
 下タ北部地区収穫感謝祭
 山車・鉾・屋台・行燈祭交流会議
 11月27日 議員総会、提案理由説明

11月27日 決算委員会総括質疑
 11月28日 拉致地方議員連盟総会
 11月29日 代表質問、水産問題調査会勉強会
 11月30日 山村振興議連予算説明会
12月
 12月1日 一般質問1日目
 支部総務分会長会議
 12月3日 拉致講演会
 実践倫理壮年の集い
 12月5日 一般質問2日目
 12月7日 予算特別委員会1日目
 中山間PT会議
 12月9日 大沢野細入地区石井知事県政報告会
 12月10日 党青年局勉強会
 井上後援会役員支部長会議
 12月11日 予算特別委員会2日目
 第2選挙区支部県議団会議
 12月12日 富山湾未来創造調査会勉強会
 経済建設常任委員会
 12月13日 議員総会、採決
 12月15日 立山山麓スキー場安全祈願祭
 12月16日 大沢野パークゴルフ協会納会
 12月17日 大山上滝分団ポンプ車入魂式
 12月19日 新美地区県政報告会
 12月20日 支部青年部会議
 12月21日 長附地区パークゴルフ納会
 12月23日 あわすのスキー場安全祈願祭
 12月27日 上婦負地域自治振興会連絡会議
 12月28日 消防年末警戒巡回～29日

主な役職

県議会における所属委員会・部会・議員連盟・調査会等

<県議会委員会>

経済建設常任委員会 副委員長
 産業基盤強化特別委員会 委員

<自民党>

県連組織委員会 副委員長
 政調会経済建設部会 副部会長
 県第2選挙区支部 副幹事長

<議員連盟>

日中、日韓、日台、日露友好議員連盟
 山村振興、スポーツ振興議員連盟
 砂防促進、拉致、観光振興議員連盟
 自衛隊支援、スカウト、オイスカ議員連盟
 看護、宅建議員連盟
 商工会、MOA議員連盟
 富山県南米協会
 県東部地域活性化協議会

<自民党調査会>

富山湾未来創造調査会
 雇用問題、医療問題調査会
 農業問題、水産問題調査会
 葉業問題、都市問題調査会
 私学教育、都市農山漁村交流調査会

プロフィール

誕生日／昭和33年8月20日（59才）
 婦中町羽根川口生まれ

.....
 古里小学校・城山中学校・富山中部高校・新潟大学農学部
 卒業
 昭和56年／富山県庁入庁
 平成26年／農村振興課長で富山県庁退職
 平成27年／富山県議会議員初当選

連絡先

【富山県議会自民党控室】

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7
 TEL 076(431)5244 FAX 076(441)8421

【事務所】

〒939-2254 富山市高内52-7（旧大沢野町）
 TEL 076(467)2359 FAX 076(403)2620
 携 帯 090-9767-1098
 ホームページ hppt://www.inoue33.net/
 E-mail gaku2014@yahoo.co.jp

県議会の詳しい様子は、
 富山県議会のホームページでご覧いただけます。

富山県議会  <http://www.pref.toyama.jp/sections/0100/>

■各種要望、座談会開催受付のご案内

皆様からのご意見、ご要望をいつでも受け付けております。事務所までご連絡下さい。また、3人程度お集まり頂ければ、当方よりお邪魔し、出張ミニ県政報告会を開催させていただきます。お気軽にお声かけ下さい。